

金 型



●精密金型設計製作、金型用合理化機械製作

株式会社保田鉄工所

▶TEL: 0736-66-2224 FAX:0736-66-2272

▶URL: <http://www.yasudatec.co.jp/>

先手必勝。時代を読むチカラで、金型産業界を牽引

ここが
スゴイ!

耐久性、精度、高品質、コストパフォーマンスの総合的見地に立ち、長年培った独自の技術で製品を開発。つねに時代のニーズに合った、一步先を行く新しい金型づくりを行っている。いち早く環境にやさしい原材料を採用したECO 金型の製造にも着手。CO₂排出の削減を意識した、未来型自動車プロジェクトなどに携わる。



2500t プレス



GT-R 車体



GT-R 車体裏



注目の新素材 CFRP を活用した製品

事業概要と躍進の契機

金型製造に情熱を傾けて約半世紀を駆ける

1934年、機械製造所として創業。1962年に直圧金型製造を開始し、紀州漆器の製造に乗り出す。躍進の契機が訪れたのは、ある商社との出会いである。「船で羊を運ぶ大型の餌箱をつくってみないか」その一声のちに大型直圧金型製造の先駆けとなる保田鉄工所のはじまりとなった。1967年以降、大型直圧金型製造に特化しノウハウを蓄積。現在では、国内有数の直圧専門金型企業として成長を遂げている。

会社の強み・主力商品など

FRP用金型で大型に特化。住宅設備分野では65%のシェア

主力は、FRP（繊維強化型プラスチック）用金型製品。新幹線の天井やバスユニット、車のパーツなど、数々の大型金型製品を世に送り出している。国内の住宅設備の分野ではシェア65%を誇る。こうした実績を支えるのは、創業より受け継がれる“ものづくりの精神”。顧客ニーズに応えるためなら、無理と思われるものにも果敢に挑戦し、新たな設計図を引く。この意気込み、力強さこそ、保田鉄工所の強みだ。

今後の事業展開

新素材による金型開発とともに、高品質かつ安価な製品の提供を継続する

注目は炭素繊維強化プラスチック（CFRP）。鉄と比較すると重さは1/4、強度は10倍、「軽くて、強く、腐食しない」21世紀の先端機能材料といわれる新素材だ。保田鉄工所では将来的なCFRP製品の需要拡大を見こし、新素材にて成形できる金型製作に取り組んでいる。また、取引企業の協力も得て、金型構造の見直し及び金型の軽量化、コンパクト化等により、さらなるコストパフォーマンスの向上を図り、顧客に高品質かつ安価な製品を提供し続けることを目指している。

●企業プロフィール

〒649-6111 和歌山県紀の川市桃山町大字最上5の2
代表取締役 保田吉郎
創業：1934年（昭和9年） 設立：1958年（昭和33年）
従業員数：55名
資本金：1,000万円

企業メッセージ

金型製造業は社会の縁の下の力持ち的な業種です。そんな目に見えないものだからこそ、私たちはプライドのある仕事をしたと考えています。そのために材料技術、成形技術、アフターサービスを含めたトータルシステムを提供し、確かな品質製品の安定供給に努めてまいります。

代表取締役 保田吉郎

